

令和5年度CADIC主催セミナー・シンポジウム

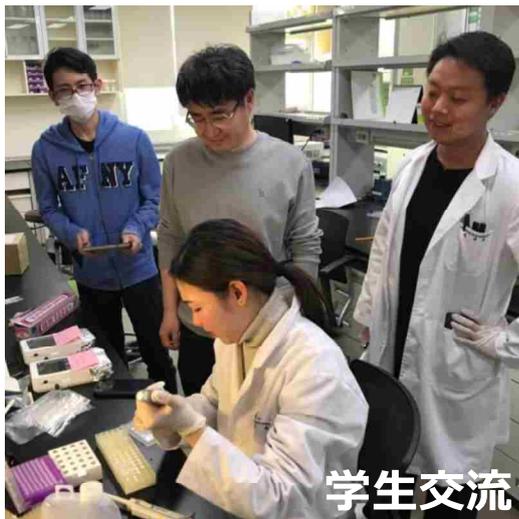
番号	開催日時	タイトル	開催場所
1	令和5年4月19日	R4年度 韓国・全北大学 共同研究/訪問報告会	農学部獣医棟1階視聴覚教室
2	令和5年5月19日	Nusa Cendana Seminar	農学部第1会議室
3	令和5年5月19日	SATREPS Workshop	National Institute of Animal Health, Thailand、オンライン
4	令和5年7月12日	CADIC公開講座「牛の2大持続感染症を学ぶ～牛ウイルス性下痢と牛伝染性リンパ腫～」	農学部講義棟1階103教室
5	令和5年8月29日	第13回 CADIC国際シンポジウム	330記念交流会館
6	令和5年8月30日	Research work on infectious diseases in pigs and other species	農学部第2会議室
7	令和5年11月7日	CADIC特別セミナー「下痢症を引き起こす病原細菌の最新研究」	宮崎大学農学部講義棟2階・L204
8	令和5年11月27日	宮崎大学産業動物防疫リサーチセンターと大分大学グローバル感染症研究センターとの共同セミナー	延岡市コワーキングスペース
9	令和5年11月30日	CADIC特別セミナー「グローバルヘルスの課題解決に挑む」	宮崎大学農学部講義棟2階・L205
10	令和5年12月12日	CADIC特別セミナー「細胞イメージング解析の包括的ソリューション～Celleste Image Analysis Software～」	農学部第2会議室
11	令和6年2月2日	CADIC特別セミナー「獣医師を楽にする牛のためのお産」	宮崎大学農学部講義棟L104
12	令和6年2月6日	CADIC特別セミナー「感染症診断へのデジタル技術活用～VRを用いた寄生虫診断学習とAIによる寄生虫卵鑑別～」	宮崎大学農学部講義棟L205教室
13	令和6年2月20日	CADIC特別セミナー「意外と知らないMERS-CoV・誰も知らないトロウイルス」	宮崎大学木花キャンパス 附属図書館3階 O-baco1
14	令和6年3月7日	SATREPS Infectious Disease Diagnosis Workshop	National Institute of Animal Health, Thailand、オンライン



R4年度 韓国・全北大学 共同研究/訪問報告会



全北大学との共同研究「野鳥により伝播する鳥類インフルエンザ及びパラミクソウイルスの早期検出システム開発並びに国際共同監視体系構築」事業説明及びR5年3月に全北大学を訪問した学生さんからの報告を行います。



学生交流



ドローンを使った
サンプリング

令和5年

日時：4月19日（水）

17:00～

場所：宮崎大学

農学部獣医棟1F

視聴覚教室



内容：

1. 事業説明

岡林環樹教授（産業動物防疫リサーチセンター）

2. 共同研究実施内容

山田健太郎准教授（農学部獣医学科）

岡林 環樹教授(産業動物防疫リサーチセンター)

3. 参加学生報告

石田まり（医学獣医学総合研究科）

有賀 士朗(農学部獣医学科)

4. 総括

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）

お問い合わせ：okbys81@cc.miyazaki-u.ac.jp

宮崎大学獣医微生物学研究室 岡林

SATREPS WORKSHOP

Friday 19th May 2023

National Institute of Animal Health (NIAH)

วันศุกร์ที่ 19 พฤษภาคม 2566
สถาบันสุขภาพสัตว์แห่งชาติ (สสช.)

MORNING SESSION (ช่วงเช้า)

จำนวนจำกัด 20 ท่าน
(Lecture & Practice)

09:00
11:00 [JP Time]

Picogene Workshop

12:00
14:00 [JP Time]

Assoc. Prof. Kentaro YAMADA
University of Miyazaki, Japan

AFTERNOON SESSION (ช่วงบ่าย)

จำนวนจำกัด 60 ท่าน
(Lecture)

13:30
15:30 [JP Time]

Application of Nanopore Sequencers for pathogen detection

15:00
17:00 [JP Time]

Assoc. Prof. Junya YAMAGISHI
Hokkaido University, Japan

15:10
17:10 [JP Time]

Application of Illumina sequencing technologies for parasite studies

16:40
18:40 [JP Time]

Assoc. Prof. Ryo NAKAO
Hokkaido University, Japan



สำหรับผู้สนใจเข้าร่วมการอบรม
ลงทะเบียนผ่าน QR Code นี้
ภายในวันที่ 12 พ.ค. 66
หมายเหตุ: ท่านจะได้รับ e-mail ยืนยันการเข้าร่วมอีกครั้ง

Application by this QR Code

FREE

ไม่มีค่าใช้จ่าย
ในการเข้าร่วมงาน

牛の2大持続 感染症を学ぶ

—牛ウイルス性下痢と牛伝染性リンパ腫—

2023.7.12 水

13:30~16:00(13:00開場)

場所:宮崎大学木花キャンパス農学部講義棟1階103教室

開催形式
対 面

参加費
無 料

事前予約
不 要

定 員
100名

主催:宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター防疫戦略部門

共催:宮崎大学農学部獣医学科

日本における牛ウイルス性下痢の 浸潤状況とその対策について

講演者 | 磯田 典和
(北海道大学大学院獣医学研究院微生物学教室)

牛ウイルス性下痢(BVD)は主に牛で発生する慢性消耗性のウイルス疾患であり、その疫学的特徴として、妊娠時に母牛がBVDウイルス(BVDV)に感染すると、ウイルスが経胎盤感染することが知られている。これは胎子の流产および発育遅延による直接的影響の他に、免疫寛容による持続感染牛の産出が農場の汚染源となり、BVDの感染拡大を引き起こすことが生産者に大きな被害を与える。北海道を中心にBVDの発生は全国で報告されているが、全国的に遺伝子型BVDV-1bとBVDV-2aが流行していることが分かっており、ワクチン接種を中心としている我が国のBVD対策では抗原性の合った適切なワクチンの接種が重要である。またBVDの発生拡大には動物の移動が重要な要因であり、それに対する対策の強化も急務である。

牛伝染性リンパ腫ウイルス感染症の 制御に向けた検査技術の進化とその応用

講演者 | 野津 昂亮
(宮崎大学農学部獣医学科産業動物伝染病防疫学研究室)

牛伝染性リンパ腫ウイルス(BLV)感染症は、感染牛に乳量低下、受胎率低下、悪性リンパ腫の発症を引き起こすことから、牛の生命と畜産現場の経済を脅かす問題となっている。BLVに一度感染すると治癒することはなく、生涯ウイルスを排出し続ける。BLVに対する有効なワクチンも存在していないことから、本感染症の制御には感染牛から他の牛に感染させない環境を作ることが重要である。それには、検査によってウイルスを大量に排出する牛を摘発することや、生まれつきBLVに強い体質を持つ牛を活用することが有効である。本講演では、BLVの感染量や牛の体質を判別する検査技術とその活用法について解説する。

お問い合わせ先

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター防疫戦略部門 関口敏
TEL:0985-58-7676 E-mail:sekiguchi@cc.miyazaki-u.ac.jp



第13回 CADIC国際シンポジウム

The 13th CADIC International Symposium

食料安全保障と持続可能な畜産のために 私たちは何をすべきか？

What should we do for food security and sustainable livestock production?

日時 2023年

8月29日 火

9:50~17:15 (受付開始9:20)

場所 宮崎大学330記念交流会館

同時通訳あり

開催形式:対面とライブ配信によるハイブリッド

定員 **100**名 / オンライン (ZOOM) **150**名

参加費無料 事前予約制

※事前申し込みはこちらから ▶▶▶



開会挨拶: 鮫島 浩 宮崎大学 学長

1. 養豚場への侵入を防止するためのアフリカ豚熱対策: 流行地域における私たちの経験

Roman Pogranichniy (カンザス州立大学・アメリカ)

2. エジプトにおける口蹄疫: 現状と今後の展望

Abdelfattah Selim (ベンハー大学・エジプト)

3. 野生動物が保有する家畜の病原体: その調査のあり方と実際

小林創太 (農研機構動物衛生研究部門)

【特別セッション】

地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム (SATREPS)

挨拶 *Lerdchai Chintapitaksakul* (タイ国立動物衛生研究所・農業協同組合省畜産開発局)

1. 産業動物防疫リサーチセンターが取り組むSATREPSプロジェクトの概要について

三澤尚明 (宮崎大学)

2. 2022年から2023年にタイで分離されたアフリカ豚熱ウイルスの病原性と遺伝的特性

Tapanut Songkasupa (タイ国立動物衛生研究所・タイ)

3. カリフォルニア酪農農場のドライロット牛房における *Mycobacterium avium* subspecies *paratuberculosis* の生物汚染度を評価するための環境サンプリング

Tapakorn Chamchoy (タイ国立動物衛生研究所・タイ)

4. 高圧パルスジェットスプレーシステムを用いた鶏肉から食品由来病原体を除去するための新技術

Chanakan Chotiphutthikul (獣医研究開発センター・東部支所・タイ)

閉会挨拶: 吉田彩子 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター センター長

お問い合わせ先

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

TEL.0985-58-7674

e-mail: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

HP: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/>

主催: 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

共催: 宮崎大学農学部

特別共催: 公益財団法人宮崎県観光協会 MICE推進局

後援: 農林水産省、宮崎県、日本獣医師会、8大学産業動物防疫コンソーシアム、

宮崎産業動物教育コンソーシアム委員会 (拡幅事業推進検討会)

Program

9:50-10:00

Opening Remarks

Dr. Hiroshi Sameshima, President, University of Miyazaki

Master of the symposium; Dr. Takako Taniguchi, CADIC, UOM

Part I

(10:00-12:00)

Chairperson: Dr. Tamaki Okabayashi, Dr. Hirohisa Mekata, CADIC, UOM

10:00-11:00

Prevention of African Swine Fever from entry into commercial farms: our experience from endemic areas

Dr. Roman Pogranichniy, Kansas State University, USA

11:00-12:00

Foot and mouth disease in Egypt: present status and future prospects

Dr. Abdelfattah Selim, Benha University, Egypt

12:00-13:30

Lunch time (90 min)

Chairperson: Dr. Kentaro Yamada, Dr. Akatsuki Saito, Faculty of Agriculture, UOM

13:30-14:30

Livestock pathogens in wildlife: establishment of surveillance system and overview of its trials

Dr. Sota Kobayashi, National Institute of Animal Health, NARO, Japan

Part II
(14:30-17:15)

14:30

Greeting

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development (SATREPS)

Dr. Lerdchai Chintapitaksakul, Director of National Institute of Animal Health, DLD, Thailand

14:35-14:45

Overview of the SATREPS project that CADIC has been tackling

Dr. Naoaki Misawa, University of Miyazaki, Japan

14:45-15:25

Virulence and genetic characteristic of African swine fever virus isolated from Thailand, 2022–2023

Dr. Tapanut Songkasupa, National Institute of Animal Health, Thailand

15:25-15:45

Coffee break (20 min)

Chairperson: Dr. Atsushi Iguchi, Dr. Ryoko Uemura, Faculty of Agriculture, UOM

15:45-16:25

Environmental sampling to assess the bio-burden of *Mycobacterium avium* subspecies *paratuberculosis* in drylot pens on California dairies

Dr. Tapakorn Chamchoy, National Institute of Animal Health, Thailand

16:25-17:05

New technology for the elimination of foodborne pathogens from chicken carcasses using a high-pressure pulse jet spray system

Dr. Chanakan Chotiphutthikul, Veterinary Research and Development Center, Eastern Region, DLD, Thailand

17:05-17:15

Closing Remarks

Dr. Ayako Yoshida, Director & Professor, Center for Animal Diseases Control, UOM

宮崎大学CADIC特別セミナー



下痢症を引き起こす病原細菌の 最新研究

◆ 日時：2023年 **11月7日(火) 16:00** ~ (17:40予定)

◆ 場所：宮崎大学 農学部 講義棟2階・L204

長崎大学 熱帯医学研究所 病原体解析部門 細菌学分野・教授

児玉 年央 氏

腸炎ビブリオの病原性発揮機構のあの手この手

腸炎ビブリオは食中毒原因菌の一つです。本菌はヒトに病気を引き起こすために、様々な手口を持つことが明らかとなってきました。本セミナーでは、本菌が持つ“あの手この手”について紹介します。

国立感染症研究所 細菌第一部 第一室・室長

伊豫田 淳 氏

腸管出血性大腸菌の多様性：菌分離から病原性の解析まで

重症下痢症の起原因菌である腸管出血性大腸菌について、菌株の分離、菌株サーベイランス、ゲノム解析、病原性の解析について我々の研究・取り組みについて紹介します。

本学の教員・職員・学生の皆さま、ぜひご参加ください。

学外からのご参加も歓迎します。

【事前申し込み不要】

世話人：農学部畜産草地科学科 井口純 (iguchi@med.miyazaki-u.ac.jp)

宮崎大学CADIC特別セミナー

グローバルヘルスの 課題解決に挑む



◆ 日時：2023年**11月30日(木) 16:00** ~ (17:50予定)

◆ 場所：宮崎大学 農学部 講義棟2階・L204

東京女子医科大学 医学部

衛生学公衆衛生学講座 公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門・准講師

岩下 華子 氏

グローバルヘルスの舞台裏 ケニア、ネパールなどから学ぶ現場の疫学研究

長崎大学 熱帯医学研究所 ベトナム拠点・准教授

阿部 遥 氏

赤道直下のガボン共和国でウイルスを追う

海外での調査・研究・長期滞在経験が豊富な2名の先生をお招きして、感染症研究を中心としたグローバルヘルス研究の「面白さ」と「難しさ」をご紹介します。

- ・岩下先生のこれまでの研究地：ケニア共和国、ネパール、ベトナム社会主義共和国
- ・阿部先生のこれまでの研究地：ガボン共和国（アフリカ）、ベトナム社会主義共和国

本学の教員・職員・学生の皆さま、ぜひご参加ください。

学外からのご参加も歓迎します。

【事前申し込み不要】

世話人：農学部畜産草地科学科 井口純 (iguchi@med.miyazaki-u.ac.jp)

CADIC 特別セミナー

獣医師を楽にする牛のためのお産

本セミナーでは、

牛のためを考え、心がけてもらいたい

分娩管理技術について、

ご紹介いただきます

*獣医師を対象としたお話が中心となりますが、
牛のお産に興味のある畜産技術者、学生の皆様も是非、ご参加ください



いしい

みつお

石井 三都夫 先生

株式会社 石井獣医サポートサービス 代表取締役
産業動物防疫リサーチセンター 客員教授
博士（獣医学）

日時；令和6年2月2日（金）16:00～（18:30予定）

場所；農学部講義棟 L104

参加無料

学内、学外、どなたでも参加できます



国立大学法人 宮崎大学

産業動物防疫リサーチセンター

Center for Animal Disease Control (CADIC)

世話人：農学部 獣医学科 北原 豪 (gkitahara@cc.miyazaki-u.ac.jp)

Let's Dry and Try!

Carry and don't worry: When you want to carry PCR or LAMP reagents to a field without a cooling device, don't worry. You can carry dry reagents in your pocket.

SATREPS Infectious Disease Diagnosis Workshop

Thursday, 7th March 2024
National Institute of Animal Health (NIAH)

วันพฤหัสบดี ที่ 7 มีนาคม 2567
สถาบันสุขภาพสัตว์แห่งชาติ

Lecturer

Professor Kentaro YAMADA
University of Miyazaki, Japan

13:30-14:00 Lecture

- PicoGene and LAMP
- Application of dry reagents for Pen-side diagnosis

14:05-16:00 "Dry and Try" Workshop

- Dry reagents for PicoGene and LAMP
- Try reagents



QR code สำหรับสมัคร



QR code สำหรับการอบรม Online

Online



Zoom Meeting ID: 999 608 0002
Password: 234202



Free

ไม่มีค่าใช้จ่าย
ในการเข้าร่วมงาน

สำหรับผู้สนใจเข้าร่วมการอบรม สามารถลงทะเบียนผ่าน QR Code นี้
ภายในวันที่ 29 กุมภาพันธ์ 2567